第七講　『ひとりね』／『折たく柴の記』　近畿大学

一　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

若き男の※物ずきするはよし。人の前にて、我こそ功者らしく覚えたるふりして目利きだてする、いとあさまし。①目利きは、いかにも一目にて見れども、知らぬふりをしているよし。これは何事によらず、物ごとしらぬふりよし。知りだてする事あしき事なり。（略）

人のひく三味線、人のひく琴も、人のひく胡弓なども、②心にはよしあしはよくなうても、少しばかりも手まへやりぬれば知るるものなれど、口に出してそしるべからず。いかほどよく芸能ありても、人の芸に非難をいふこと※芸者心にて、よき人のこころにあらず。※職がたきにていやしき事なり。余が書きし『青楼式』に、「③大臣はいかにも無芸なるがよき」といふ事も、このこころなり。

すべて芸のあるは、※太鼓のやうにてあしきなりとはいひつつも、諸芸ともに人にほめられんと思ふ心ある故に精を出して習ふ。精を出して習ふ故によくなる。よくなる故に、人のがわるく見ゆる。④わるく見ゆるからは、人がこなしたうなるも、法華

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

坊主が目に※善導大師が憎う見え、浄土坊主が目には日蓮のあたまが頭痛にさはりて嫌なも、ただ身が立てたさの事なり。⑤身が立てたいといふ事、わるい事かと思へば、その心がなければ一日もこの世は立たぬものなり。

老子経に、「大道すたれて仁義あり」と言ふたごとく、※仁義・五常のといふものがすつきり無うなつてから、自然と仁義・五常が人々にあるなり。荘子が、「聖人生じて大盗の道がおこる」と言ひしごとく、聖人の生まれ⑥させられて、金といひ銀といひ、礼といひ智といひ、⑦かうすればよいああすればわるいと教へ給ふにより、戸をたてて※鎖鑰（さやく）をかけるといふ事はなぜに、鎖鑰といふ物するわけはどうした事ぞといふて、※根をおして聞いた時は、盗人にとられうかといふ事を用心する、用心する心からははや手前も、人のものをただ取る事はかふしたものぢやといふ事を知りきつたもの故に、⑧聖人出でて盗人の道がさかんに世にはやるといふ。

芸もそのごとし。すべて、紙細工をするには糊（のり）といふものを以て仕立つれども、その糊気が少しありても、虫が付いたりこはばつたりなどするがごとし。魚を塩につけて置くに、その塩気をぬきて喫（くは）ねばならぬがごとしといふも、『庖志』に見へたり。右のごとく芸に精を入れねばならぬに、⑨精を入れおはりてその芸よくなりたらば、すつきりと我慢の気をぬくべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（柳沢淇園『ひとりね』による。ただし本文の一部を省略した←注：入試問題そのままです）

※物ずき……骨董や芸能に趣味があること
※芸者心……芸人根性
※職がたき……同業者どうしが互いを敵視すること
※太鼓……太鼓持（酒宴の席で客の機嫌を取り、場を盛り上げるのを仕事とする男性）
※善導大師……唐の善導和尚。中国浄土教の大成者
※仁義・五常……儒教で重んじられた教え。いずれも、人が行うべき正しい行動や態度をさす
※鎖鑰……錠前と鍵
※根をおして……ものごとの根本にまで立ち入って

問一　傍線部①の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　目利きは、ものの価値を一目で見抜くけれども、分からないふりをしているのがよい
2　目利きは、ものにどんな価値があるか一目で見抜くが、気付かぬふりをしているものだ
3　目利きは、どんな物でも一目見ようとするが、見ても知らんぷりをしている方がよい
4　目利きは、いかにも一目で価値が分かるように見えるが、分かるふりをしているだけだ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部②の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　たとえ内心上手だとは思えなくても、少しでも同じことを自分がやればその難しさは分かるのだから、口に出して悪く言うべきではない
2　たとえ内心上手だとは思えなくても、少しでもわが身にひきつけて考えてみれば分かることなのだから、人や芸の悪口を言うものではない
3　少しでもその人の手真似をやれば芸の内容は分かるものだが、たとえ内心上手だとは思えなくても、芸そのものをけなしてはならない
4　少しでも自分に経験があれば人の芸の良し悪しは分かるものだが、たとえ内心上手だとは思えなくても、口に出して悪く言うべきではない

問三　傍線部③の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　身分のある者は、どう見ても芸のない性格の人間であるのがよい
2　身分のある者は、どうあれ芸については知らぬふりをするのがよい
3　身分のある者は、どのようにしてでも無芸の思想を貫くのがよい
4　身分のある者は、どう言われようと芸の素養など持たぬ方がよい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　傍線部④の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　（人の芸が）悪く見えるので、人を軽んじた態度をとりたくなる
2　（人の芸が）悪く見えるけれども、自分はがんばろうと努力する
3　（人の芸が）悪く見えるのに、人と同じことをやってみたくなる
4　（人の芸が）悪く見えるのは、芸をこなしているだけだからである

問五　傍線部⑤の説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　自分の芸を世間に認めてほしいという気持ちのためについ人を批判してしまうものだが、そうした批判精神が人々になければ一日たりとも社会は動かぬものだ
2　自分の芸を世間に認めてほしいという気持ちは芸を志す者なら誰しも持つものだが、それがあるために他人の悪口を言ったりいがみあったりする厄介な代物だ
3　自分の芸を世間に認めてほしいという気持ちゆえに他人の芸を悪く言ってしまうものだが、認められたいという気持ち自体は人間にとって必要不可欠なものだ
4　自分の芸を世間に認めてほしいという気持ちは芸人特有のように思えるが、実は日蓮宗の僧と浄土宗の僧とが反目しあう原因にもなっている普遍的なものだ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　傍線部⑥と同じ用法の「させ」として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　西のかたにさせりける枝のもみぢはじめたりけるを
2　この花の散るを惜しうおぼえさせ給ふか
3　月の都の人まうで来ば、捕らへさせむ
4　御消息を申させはべらむ

問七　傍線部⑦は誰が言っているのか。最も適切なものを次の中から選べ。

1　老子　　2　人々　　3　荘子　　4　聖人

問八　傍線部⑧の理由として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　戸締まりの重要性や方法を詳しく教わることで、同時に人の物を盗むという行為があることにも気付いてしまうから
2　戸締まりの方法と盗人の手口について聞いているうちに、泥棒が悪いことだとは思えなくなってきてしまうから
3　聖人が言葉を尽くして正義を説いたとしても、必ずそれに反発して悪事を働く人間が現れるのが世の常だから
4　聖人が善悪を説く際に盗人の例をあまりに持ち出すので、そこまで言うなら自分もやってみようという気になるから

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　傍線部⑨の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　精進を重ねてその芸が上達したので、これまで芸の上達にこだわってきた気持ちをすっきりさせるべきである
2　精進を重ねてその芸が上達したので、すっきりと気持ちを切り替えて少しはわがままに振る舞うことができる
3　精進を重ねてその芸が上達したら、あとは我慢せずにすっきりとした大らかな心持ちを取り戻すことができる
4　精進を重ねてその芸が上達したら、自分のこれまでの努力に執着する心をすっきりと捨て去るべきである

問十　本文についての説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　芸を志す者の悪癖を、さまざまな具体例を挙げて皮肉たっぷりに描いている
2　芸を志す者の心得を、多岐にわたるたとえ話を挿入しつつ平易に説いている
3　芸を志す者への指針を、経典の引用や宗教者の話を交えて格調高く示している
4　芸を志す者への注意を、通俗的な話を織り交ぜながら面白おかしく述べている

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

むかし人は、ア いふべき事あればうちいひて、その余はみだりにものいはず、いふべき事をも、いかにもことば多からで、其(その)［ 1 ］たりけり。我父母にてありし人々もかくぞおはしける。父にておはせし①人のその年七十五になり給ひし時に、※傷寒をうれへて、事きれ給ひなんとするに、医の来りて※独参湯(どくじんたう)をなむすゝむべしといふ也。よのつねに人にいましめ給ひしは、「年わかき人はいかにもありなむ。イ よはひかたぶきし身の、いのちの限りある事をもしらで、薬のためにいきぐるしきさまして終りぬるはわろし。あひかまへて心せよ」とのたまひしかば、「此(この)事いかにやあらむ」とa いふ人ありしかど、疾喘(しつぜん)の急なるが、見まゐらするもこゝろぐるしといふほどに、※生薑汁(しやうがじる)にあはせてb すゝめしに、それよりいき出で給ひて、つひに其病癒(い)え給ひたりけり。後に母にてありし人の、「いかに、此程は人にそむきふし給ふのみにて、また物のたまふ事もなかりし」ととひ申されしに、「されば、頭のいたむ事殊(こと)に甚(はなはだ)しく、ウ 我いまだ人にくるしげなる色みえし事もなかりしに、日比(ひごろ)にc かはれる事もありA なむには、②しかるべからず。又エ 世の人熱にをかされて、ことばのあやまち多かるを見るにも、③しかじ、いふ事なからむにはと思ひしかば、さてこそありつれ」と答へ給ひき。これらの事にて、④よのつねの事ども、おもひはかるべし。⑤かくおは

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

せしかば、あはれ、問ひまゐらせばやと[d]おもふ事も、いひ出でがたくして、うちすぐる程に、うせ給ひしかば、さてやみぬる事のみぞ多かる。⑥よのつねの事共(ども)は、さてもやあるべき。※おやおほぢの御事、詳(つまびらか)ならざりし事こそくやしけれど、今はとふべき人とてもなし。

（『折たく柴の記』による）

※傷寒……激しい熱病。今でいうチフスの類に相当
※独参湯……煎じ薬の名。きつけに効くといわれる妙薬
※生薑汁……しょうがのしぼり汁
※おやおほぢ……父親と祖父

問一　空欄 1 に入るものとして、最も適切なものを次の中から選べ。

1　他はいひ　　2　善悪を知り　　3　初心を案じ　　4　義を尽し

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部①と同一人物が主語（動作主）であるものを、二重傍線部ａ～ｄの中から選べ。

1　ａ　　2　ｂ　　3　ｃ　　4　ｄ

問三　波線部Ａと同じ用法の「なむ」として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　うぐひすは植ゑ木の木の間を鳴き渡らなむ
2　かの草をもみてつけぬれば、すなはち癒ゆとなむ
3　容貌もかぎりなくよく、髪もいみじく長くなりなむ
4　わびぬれば身を浮き草の根を絶えて誘ふ水あらばいなむとぞ思ふ

問四　傍線部②はどのようなことか。最も適切なものを次の中から選べ。

1　この数日で病状が悪い方向に進んでしまうと、これまでと違った苦しい様子を人に見せるかもしれない
2　これまで頭が痛むことはあっても苦しくはなかったが、今回は命が絶えることもあるかもしれない
3　これまでの病気では出なかったような高熱でうなされて、ばかげたことを口走ってしまうかもしれない
4　これまで薬を服用せずとも病気は癒えていたが、状態が急変して薬を服用することになるかもしれない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　傍線部③の説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　何も言わないに越したことはない
2　何か言う時には細心の注意を払うべきだ
3　言わないのは卑怯だがしかたがない
4　言うべき時には伏線を敷かないほうがよい

問六　傍線部④と⑥が指す内容の組み合わせとして、最も適切なものを次の中から選べ。

1　④　日ごろの父の病状　⑥　世間一般のこと
2　④　日ごろの父の態度　⑥　世間一般のこと
3　④　世間一般のこと　⑥　日ごろの父の態度
4　④　世間一般のこと　⑥　日ごろの父の病状

問七　傍線部⑤が指す内容として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　ア　いふべき事あればうちいひて、その余はみだりにものいはず
2　イ　よはひかたぶきし身の、いのちの限りある事をもしらで
3　ウ　我いまだ人にくるしげなる色みえし事もなかりし
4　エ　世の人熱にをかされて、ことばのあやまち多かる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　本文と内容の合致するものはどれか。最も適切なものを次の中から選べ。

1　昔の人はあまり多く語らないことを美徳としており、父親もまたそれに従って寡黙な人であった
2　作者の父は口数が少ない人であったため、作者の母は父になぜ話さないのか普段から質問していた
3　父親は七十五歳のときに熱病におかされたが、医者がすすめる薬を断って一時は重体に陥っていた
4　若い人は病にかかったら効き目のある薬をすぐに飲んだ方がよいが、老人は効きすぎるのでよくない

問九　この文章の作者を次の中から選べ。

1　鴨長明　2　新井白石　3　荻生徂徠　4　契沖

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　復習問題

①「判ぜさせ奉るに…」の「させ」について、文法的用法が同じものを次の中から選べ。

ア　しか申させたまひけるとぞ。
イ　この帝、貞観九年丁亥五月五日、生まれさせたまふ。
ウ　この宮に御覧ぜさせむとて、『三宝絵』は作れるなり。
エ　おほやけも許させたまひしぞかし。

②「末の世にも集などにも入りなむ」の「なむ」について、文法的用法が同じものを次の中から選べ。

ア　よそ人にてまじらひたまはむ、見ぐるしかりなむ。
イ　その薬食ひたる人は、かく目をなむ病む。
ウ　よひよひごとに、うちも寝ななむ。
エ　さあらむ所に、一人往なむや。

③「かしこには□行くまじかめり。」の空欄に入るものとして、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　え　　イ　こそ　　ウ　な　　エ　なむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　次の空欄に入るのに、最も適切なものを後の中から選べ。

「いかでか信じ候ふ□」と。

ア　べき　　イ　べし　　ウ　べく　　エ　べかる

⑤　「僧都の御はらからにはただ女君ひとりにて、…」の傍線部はどのような意味か。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　友人たち
イ　母が同じ兄弟や姉妹
ウ　同僚たち
エ　親類の人々

⑥　「世にふるをうき身と思ふわが袖のぬれはじめける宵の雨かな」の傍線部は掛詞になっている。掛けられている語の組み合わせとして、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　「経る（ふ）」と「古（ふる）」
イ　「振る」と「降る」
ウ　「振る」と「古」
エ　「経る」と「降る」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦「安積香山影さへ見ゆる山の井の浅き心を我が思はなくに」の和歌の傍線部の説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　枕詞　　イ　序詞　　ウ　懸詞　　エ　縁語

⑧『和漢朗詠集』の撰者を次の中から選べ。

ア　藤原道長　　イ　源実朝　　ウ　藤原定家　　エ　藤原公任

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第七講】

〔模範解答〕

一

問一　1　問二　4　問三　2　問四　1　問五　3
問六　2　問七　4　問八　1　問九　4　問十　2

二

問一　4　問二　3　問三　3　問四　1　問五　1
問六　2　問七　1　問八　1　問九　2

〔現代語訳〕

一

若い男が骨董や芸能に趣味があるのはよい。人前で、自分こそ巧者らしく思われるふりをして目利き自慢をするのは、たいそう見苦しい。目利きは、ものの価値を一目で見抜くけれども、分からないふりをしているのがよい。これはどんなことでも同じで、ものごとは分からないふりをしているのがよい。知ったかぶりをすることはよくないことである。

人が弾く三味線や、人が弾く琴も、人が弾く胡弓なども、たとえ内心上手だとは思えなくても、少しでも自分に経験があれば人の芸の良し悪しは分かるものだが、口に出して悪く言うべきではない。どれほどすぐれた芸があったとしても、人の芸に非難を言うことは（悪い）芸人根性であって、身分のある人のすることではない。同業者どうしが互いを敵視することで卑しいことである。私が書いた『青楼式』に、「身分のある者は、どうあれ芸については知らぬふりをするのがよい」ということも、これと同じ趣旨である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

総じて芸があるのは、太鼓持のようでよくないことであるとは言いながらも、もろもろの芸はどれも人に褒められたいと思う気持ちがあるから精進して稽古をする。精進して稽古をするから上達する。上達するから、人の（芸）が悪く見える。（人の芸が）悪く見えるので、人を軽んじた態度をとりたくなるのも、日蓮宗の僧侶の目に浄土宗の善導大師が憎く見え、浄土宗の僧侶の目には日蓮の頭がひどく気にさわって嫌に見えるのも、ただ身を立てたい〔＝自分の芸を世間に認めてほしい〕ということなのである。自分の芸を世間に認めてほしいということは、悪いことかというと、その（認められたいという）気持ちがなければ一日たりともこの世の中は成り立たないものである。

老子経に、「大道すたれて仁義あり」と言ったように、仁義・五常といった教えがすっかり無くなってはじめて、自然と仁義や五常が人々の心にあるのである。荘子が、「聖人生じて大盗の道がおこる」と言ったように、聖人〔＝孔子〕が生まれなさって、金〔＝「仁」のこと〕と言い銀〔＝「義」のこと〕と言い、礼と言い智と言い、こうすればよい、ああすれば悪いと教えなさったから、戸を閉め錠前と鍵をかけるのはどうしてか、錠前と鍵をかける理由はどういうことかと言って、ものごとの根本にまで立ち入って聞いた時、泥棒に盗まれはしないかということを用心する、用心する気持ちが元となって、では自分も、人のものをただ盗むにはこうすればよいのだということをすっかり理解してしまったために、聖人が世に表れて泥棒の道がさかんに世に広まるという。

芸もそれと同じだ。総じて、紙細工をするには糊というものを使ってこしらえるけれども、その糊気が少し残っても、虫が付いたりこわばったりするようだ。魚を塩に漬けて置くと、その塩気を抜いてから食わねばならないのと同じだということも、『庖志』に書かれている。以上のように芸には精進せねばならないけれども、精進を重ねてその芸が上達したら、自分のこれまでの努力に執着する心をすっきりと捨て去るべきである。

二

昔の人は、言うべきことがあれば言うが、それ以外はむやみにものを言わず、言うべきことも、非常に言葉多くなく、その真意を言い尽くしたのだった。私の父母であった人々もこのようでいらっしゃった。父でいらっしゃった人が七十五歳におなりになった時に、激しい熱病にかかって、今にも死にそうになられた時に、医者が来て「独参湯をすすめよう」と言うのである。（父

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

は）常日頃人に戒めなさったことには、「年若い人はどうしても構わないだろう。年老いた身で、命に限りがあることも知らないで、薬のために息苦しそうにして臨終を迎えるのはよくない。よくよく気をつけよ」とおっしゃっていたので、「これはどうであろうか」と言う人がいたが、急な病気でとても息苦しそうなのが、見申し上げるのもつらいほどだったので、生姜汁に合わせてすすめたところ、（父は）それから息を吹き返しなさって、ついにその病気は治りなさった。後に母であった人が、「どうして、病気の間は人に背を向けて寝ていらっしゃるばかりで、何もおっしゃることがなかったのですか」と尋ね申し上げなさったところ、「それは、頭痛がとてもひどく、自分はまだ人に苦しそうな様子を見せたこともなかったのに、いつもと変わったことが起こったなら、そのようにはいられない。また世間の人が熱に冒されて、わけの分からないことを言うことが多いのを見るにつけても、『何も言わないに越したことはないだろう』と思ったので、そうしていたのだ」とお答えになった。これらのことで、日ごろの父の態度も、推測できるだろう。このようでいらっしゃったので、「ああ、お聞き申し上げたい」と思うことも、言い出しにくくて、そのまま過ぎていくうちに、お亡くなりになったので、そのままになってしまったことばかりが多い。世間一般のことについては、そうでも構わない。父親と祖父のことを、詳しく聞けなかったことは残念であるが、今はもう尋ねることができる人もいない。

〈重要単語〉

○すべて【総て】…①全部で。　②**総じて**。　③（「＋～打消」の形で）**まったく**（～ない）。

○うす【失す】…①消える。　②**死ぬ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講　解答解説

〔解説〕

① 設問文の「させ」は、助動詞「さす」の連用形。真下が「奉る」と尊敬語ではないので、この「させ」の意味は使役。選択肢の中で、下に尊敬語がついていないのはウのみ。接続も「御覧ぜ」とサ変動詞の未然形なので、使役の助動詞「さす」である。よって、ウが正解。ちなみに、アは「申す」の未然形「申さ」の活用語尾＋助動詞「す」の連用形。イは、下が「たまふ」と尊敬語で、主語が「帝」。文脈からも「尊敬」の意味である。エは「許す」の未然形「許さ」の活用語尾＋助動詞「す」の連用形。

② 設問文の「なむ」は、四段活用「入る」の連用形に接続しているので、助動詞「ぬ」＋助動詞「む」。上が連用形の選択肢はアのみ。よって、アが正解。ちなみに、イは係助詞「なむ」、ウは未然形に接続しているので、他者願望の終助詞「なむ」、エはナ変動詞「往ぬ」の活用語尾＋助動詞「む」。

③ 選択肢のイ・エが係助詞と考えられるが、文末が「めり」と終止形のため、これらは不適切。ア「え」は、打消と一緒に用いて「～できない」という不可能の呼応の副詞。ウ「な」は、「そ」と一緒に用いて「～するな」という禁止の呼応の副詞。設問文の空欄の下は「行くまじかめり。」で、打消系統の助動詞「まじ」がある（「まじ」の連体形「まじかる」の撥音便無表記「まじか」）。「そ」はないので、このことからもアが正解。

④ 文末が空欄の場合は、上をざっと確認して係助詞か疑問副詞の有無を確認する。この場合、「いかでか」（＝疑問副詞「いかで」＋係助詞「か」）があることから、文末は連体形。選択肢で連体形はアとエ。下に助動詞がないことから、補助活用ではないアが正解。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　「はらから」は重要単語で「(母を同じくする)兄弟姉妹」の意味。よって、イが正解。

⑥　「ふる」は掛詞で頻出。選択肢にあるように「経る」「古」「振る」「降る」から文脈で適切なものを選ぶ必要がある。まず「世にふる」から考えると「経る」であることから、イとウは不適切。下の句で「雨」の話題があることから「降る」のエが正解。近畿大学も関西学院大と同じように、様々なジャンルの問題が問われる。和歌が問われる場合も多い（第六講の復習問題の解説にも書きましたが、「和歌の修辞技法」に関しての詳しい講義は、『センター古文漢文対策講座』の第二講で実施していますので、和歌が苦手で未受講の方は是非受講してください）。

⑦　こちらも和歌の修辞技法の問題。十七音目が「の」で「～のように」と訳せる（安積香山の姿まで映って見える山の井戸のように浅い）ので、序詞である。よって、イが正解。

⑧　『和漢朗詠集』の撰者は藤原公任。よって、エが正解。文学史も出題されることが多いので、文学史の学習も必要。

〔解答〕

①　ウ　②　ア　③　ア　④　ア　⑤　イ　⑥　エ　⑦　イ　⑧　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。